

基本目標 I いっしょに食べよう、育もう 子どもの食習慣 <子どもの健全育成>

1 家庭における食育の推進

①令和元年度  
②令和2年度

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
①	妊産婦や乳幼児に対する保健指導	3～4か月児健康診査	離乳食の進め方についての集団指導や栄養相談などの実施	通年 ①24回 628人 ②24回	医療機関 市(保健センター)
		すくすく相談(乳幼児クリニック)	低体重児及び未熟児等ハイリスク児への小児科専門医による診察や相談及び栄養相談の実施	通年 ①6回 21人 ②6回	
		1歳6か月児健康診査	栄養相談や保健相談などの実施	通年 ①24回 178人 ②24回	
		3歳6か月児健康診査	栄養相談や保健相談などの実施	通年 ①24回 179人 ②24回	
		もうすぐパパママ教室	食事バランスガイドを活用し、子育て世代の食生活について普及・啓発	通年 ①10回 父133人、母131人 ②10回	
		育児相談	乳幼児を対象とした栄養相談の実施	通年 ①12回 179人 ②12回	
		離乳食実習(もぐもぐ教室)	離乳食初期の乳児を持つ親を対象とした講義と、離乳食実習の実施	通年 ①12回 177人 ②12回	
		わくわく広場	心身の発達などに心配のある子どもを対象とした、おやつや遊びなどを通じての小集団指導を実施	通年 ①9回 73人 ②10回	
		わんぱく広場(要観察児教室)	就学を控えた4・5歳児発達障害要観察児に対して、おやつや遊びなどを通じての小集団指導を実施	通年 ①6回 75人 ②6回	
	むし歯予防教室	おやつのとり方や生活習慣についての集団指導(2.6歳のみ) 歯科診察、フッ素塗布、個別相談などの実施	通年 ①(2.6歳)12回 382人 ②(2.6歳)12回		
②	望ましい食習慣や知識の習得	おやこの食育教室	園児や小学生の子どもとその親を対象として、食育に関する講義や郷土料理の料理講習会を実施	11月 ①1回 32人 ②1回	(財)日本食生活協会 富山県食生活改善連絡推進協議会 射水市食生活改善推進協議会 市(保健センター)
		三世代ふれあいクッキングセミナー	食を通じて三世代の交流を推進するとともに、各年代の健康づくりのための食事について学ぶためのクッキングセミナーを実施	7～11月 ①7回 249人 ②7回	
		栄養ボードと給食サンプルの展示	家庭における食への関心を深めるため、栄養ボードと様々な食材を使った保育園給食を紹介。	通年 ①全保育園 ②全保育園	
③	子どもの生活リズムの向上	早寝早起き朝ごはん運動の実施	小・中学校の児童生徒の生活習慣の振り返りと改善を促すため、各学校で実施	通年 ①定期 ②定期	学校給食センター、幼稚園、小・中学校、市(学校教育課) 保育園、市(子育て支援課)
		食育だよりの配付	正しい食習慣に関する情報を保護者へ伝えるため、保育園や幼稚園において「食育だよりの」や「給食だよりの」を配付	通年 ①定期 ②定期	
		保健だよりの配付	乳幼児期の健康の留意点を保護者へ伝えるため、保育園や幼稚園において「保健だよりの」「すこやかだよりの」を配布  小・中学校の児童生徒自身や各家庭における健康への関心を促すため、各学校で配付	通年 ①6回 ②6回  通年 ①定期 ②定期	

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
④	肥満予防の推進	特定健康診査の実施	40歳以上の被保険者を対象として、生活習慣病の前段階であるメタボリックシンドロームに着目した健康診査を実施	6～10月 ①対象者 14,442人 ②対象者約14,000人	医療機関、市(保険年金課)
		特定保健指導(動機付け支援・積極的支援)の実施	特定健康診査の結果をもとに、リスクの高い該当者を対象として、専門スタッフによる生活習慣病改善に向けた個々のプログラムによる健康づくりのサポート	10月～翌年9月 ①対象者 779人 ②対象者約700人	
		若年健診(35～39歳の健康診査)の実施	若年者に受診の機会を提供することにより、早期の受診意識啓発を行うとともに、必要に応じ保健指導を実施し、生活習慣の改善及び健康意識の向上を図る。	8～9月 ①対象者 540人 ②対象者約540人	
		服薬コントロール不良者等訪問指導の実施	特定健康診査の結果に基づく、血圧・血糖・脂質の服薬コントロール不良者、非肥満者(非メタボ)の受診勧奨者について、生活習慣の改善等の保健指導を行うことにより、被保険者の健康管理の徹底を図り、生活習慣病の重症化を予防する。	通年 ①対象者 225人 ②対象者約300人	
		小児生活習慣病予防検診の実施	小学校4年生の全員及び5・6年生のうち希望者を対象に、血液検査等を行い、結果に基づき食生活等の健康指導を実施	9月～11月 ①870人 ②870人	
⑤	家族だんらんの推進	「食育の日」の啓発	食生活改善推進員によって「毎月19日は食育の日」として家族揃って食事をとるようチラシ入りティッシュを配布し啓発	通年 ①随時 1,000人 ②随時 1,000人	射水市食生活改善推進協議会
		「食育だより」の配付【再掲:1-③】	各保育園から配付する「食育だより」「献立カレンダー」などを通じ「毎月19日は食育の日」を啓発	通年 ①定期 ②定期	保育園、市(子育て支援課)
		あったか家族応援プロジェクト	子育て井戸端会議で家庭教育リーフレット「あったか家族3つのポイント」を配布し説明を行った。	通年 ①749人 ②約750人	市(生涯学習・スポーツ課) 家庭教育アドバイザー連絡協議会
		アルビス健康セミナーとのコラボ企画として、「あったか家族」のポイントである家族で食事を作ったり、食事をするといった家族との団らんの大切さを説明し事業を啓発	1月 ①アルビス歌の森店・大島店 ②アルビス	市(生涯学習・スポーツ課) アルビス(株)	
⑥	家庭における手作り料理の推進	CATV番組「ばくばくクッキング」の放映	「血管を守ろう!メタボを防ぐ食生活」をテーマに、簡単メニューを紹介する番組の作成及び放映	6・9・12・3月 ①4回 ②4回	市(保健センター)
		広報「いみず」にレシピ掲載	広報「いみず」に毎月『食生活改善推進員のおすすめレシピ』を掲載。	毎月 ①12回 ②12回	市(未来創造課、保健センター) 射水市食生活改善推進協議会
⑦	家庭における郷土料理や伝統料理の実践	元気とやまわくわくクッキング	食品ロスの削減について学び、地域の食文化や栄養バランスのよい料理を普及するため、旬の地場産食材を使用した郷土料理の調理実習等を実施	9～11月 ①3回 57人 ②3回	富山県食生活改善連絡推進協議会、射水市食生活改善推進協議会
		郷土料理や伝統料理の実施	保育園において郷土料理や伝統料理を取り入れて提供。「献立だより」を通じて啓発。	通年 ①定期 ②定期	保育園、市(子育て支援課)
⑧	よく噛む習慣の定着	カミカミメニューの実施	献立に歯ごたえのあるメニューを週1～2回取り入れ、噛むことを指導。また、「食育だより」を通じてよく噛むことの効果を啓発	6月 ①全保育園 ②全保育園	保育園、市(子育て支援課)
		むし歯予防教室【再掲:1-①】	おやつのとり方や生活習慣についての集団指導(2.6歳のみ) 歯科診察、フッ素塗布、個別相談などの実施【再掲:1-①】	通年 ①(2.6歳)12回 382人 ②(2.6歳)12回	市(保健センター)
⑨	子どもの食事マナーの習得	学校給食通じた指導	給食時の学校放送や学級活動を通じたマナーの啓発	通年 ①随時 ②随時	小・中学校、市(学校教育課)
		「食育だより」の配付【再掲:1-③】	各保育園から配付する「食育だより」などを通じた、手洗いや望ましい食べ方、箸の持ち方など食事マナーの啓発	通年 ①②望ましい食べ方噛むことの大切さ手洗いのポイント食具の使い方	保育園、市(子育て支援課)
⑩	食べ物に対する感謝の念の醸成	ふれあい農園の運営	農産物を栽培しながら食材に対する理解を深めるとともに、周辺農業者及び市民相互の交流を図る施設の運営	通年 ①58/58区画 ②58/58区画	NPO法人下村スポーツクラブまいけ、市(農林水産課)

## 2 学校、保育園等における食育の推進

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
①	教育活動における食育の推進	食育講座、給食参観の実施	年間食育計画に基づき、栄養と食材に関する「食育講座」や保護者と一緒に給食を食べる「給食参観」などを実施	通年 ①定期 ②定期	保育園、市(子育て支援課)
		食事マナーの指導	給食時における手洗いの方法やあいさつ、配膳の仕方や箸の持ち方などを指導	通年 ①随時 ②随時	
		栄養教諭、栄養職員による指導	食に関する年間指導計画に基づき、各教科や総合的な学習の時間などを利用して、旬の食材の紹介や望ましい食生活と食事マナーなどを指導	通年 ①随時 ②随時	小・中学校、市(学校教育課)
②	食に関する体験活動の推進	保育園における家庭菜園体験	食に興味を持つきっかけづくりとして、園児が野菜の栽培や収穫、調理を体験	通年 ①随時 ②随時	保育園、市(子育て支援課)
		小・中学校における農業体験	バケツ稲や田んぼでの田植えのほか、各学校の菜園などにおいて、地域の農業者等から指導を受けながら農作業を体験	通年 ①随時 ②随時	幼稚園、小・中学校
		稚魚放流事業	育てる漁業や地域の食材への理解を深めてもらうため、園児・児童がアユやクロダイ等の稚魚放流を体験	4月 4月 8月 ①大門小 ②大門小(アユ) 八幡保育園(クロダイ)	保育園、小学校、市(農林水産課)
		陸上養殖	放生津小学校の児童が、メバルを対象に、専門家の指導のもと水槽の制作から、飼育しながら生き物の成長と命の尊さについて学んだ。	8月～3月 ①放生津小 ②事業終了	市(学校教育課)
③	学校給食における食育の推進	食事マナーの習得	栄養教諭や栄養職員による指導のほか、給食時の学校放送などを通じた食事マナーの習得	通年 ①随時 ②随時	幼稚園、小・中学校、学校給食センター、市(学校教育課)
		学校給食を通じた指導	栄養教諭や栄養職員が中心となり、学校給食センターから給食を受配する学校と自校で給食を調理する学校のそれぞれに対応した指導体制のもと、各学校の食に関する年間指導計画に基づき学校給食を通じた指導を実施	通年 ①随時 ②随時	
		豊かで魅力ある学校給食の運営	学校長、給食主任や栄養教諭等で組織する学校給食研究会において、食材、献立の内容や学校給食のあり方等の調査・研究を行った。各学校では、それぞれの特色を生かし、工夫をしながら豊かで魅力のある給食を実施	通年 ①随時 ②随時	
④	地場産食材の活用	「射水きときとの日」の実施	保育園において毎月「射水きときとの日」を設定し、旬の地場産食材を給食に使用	通年 ①26回 ②28回	保育園、市(子育て支援課)
		地場産食材利用の加工食品提供	地元の食材を使ったりんご・にんじんゼリーや里芋コロッケ、かぼちゃコロッケなどを業者に製造依頼し給食に使用	通年 ①17回 ②24回	
		6市連携地場産献立「呉西(ゴーセイ)な日!!」	圏域内の農林水産物(以下、「地場産物」という。)を使った共通の献立を学校給食で提供し、共通の献立名は、分かりやすく親しみが持てるよう、とやま呉西圏域の「呉西」と特別感をだす「豪勢」をかけ、「呉西(ゴーセイ)な日!!」とする。 子供が口にすることに保護者は興味を持っており、学校給食に使用されることで、子供のみならず保護者も地場産物に興味を抱くようになり、現時点及び子供が成長した後の将来的な地場産物の消費拡大につながる事が期待される。 また、地場産物一つ一つの印象は大きなものではないが、6市において「呉西(ゴーセイ)な日!!」を提供することで一体感と特別感をだし、より大きな印象、波及効果をねらう。 ブランドの育成につながる土壌を育むとともに、圏域の消費の定着化を図りたい。	①11/18～22 ②11月中	とやま呉西圏域連携事業「呉西圏域ブランド育成事業」、市(農林水産課)

基本目標Ⅱ

みずから知ろう、実践しよう 食で健康生活 <健康に過ごす人生>

3 市民食育推進運動の展開

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
①	「食育月間」及び「食育の日」における食育の推進	「食育の日」の啓発【再掲:1-⑤】	食生活改善推進員によって「毎月19日は食育の日」として家族揃って食事をとるようチラシ入りティッシュを配布し啓発【再掲:1-⑤】	通年 ①随時 1,000人 ②随時 1,000人	射水市食生活改善推進協議会
		農業産業まつりの開催	市の農業・産業の持続的な発展を目的として、JAIみず野、射水商工会議所、射水市商工会からの出店のほか、ステージイベントなどを実施（射水市農業産業まつり実行委員会が実施）	11/9 ①1回 ②1回	農林水産業関係団体、食品関連事業者、市（農林水産課）
		「食育だより」の配付【再掲:1-⑤】	各保育園から配付する「食育だより」「献立カレンダー」などを通じ「毎月19日は食育の日」を啓発【再掲:1-⑤】	通年 ①定期 ②定期	保育園、市（子育て支援課）
②	各種団体との連携・協力体制の確立	射水市食育推進会議の開催	食育の推進に関係が深い関係諸団体との連携を図り、射水市食育推進会議の開催を通じネットワークを構築	10月 ①1回 委員7名(1名欠席) ②3回	市(保健センター)
		食生活改善推進協議会との連携	生活習慣病予防のための食生活をテーマとした講義や調理実習を行う伝達講習会や、地域ニーズに則した各種の料理教室などを行う地域食育講習会を開催 役員会・理事会の開催	通年 ①伝達講習 23回 406人 地域食育講習 32回 1392人 役員会・理事会 毎月 ②伝達講習22回 地域食育講習30回 役員会・理事会 毎月	市(保健センター)
③	食育推進への理解の増進	ホームページの作成、公表	射水市ホームページで射水市食育推進計画の内容を周知	通年 ①随時 ②随時	市(保健センター)
		広報誌による周知	食育月間に合わせて食育に関する記事を掲載「食育の日」は毎月掲載	通年 ①随時 ②随時	
④	各種イベントにおける食育の普及・啓発活動の推進	農業産業まつりの開催【再掲:3-①】	市の農業・産業の持続的な発展を目的として、JAIみず野、射水商工会議所、射水市商工会からの出店のほか、ステージイベントなどを実施（射水市農業産業まつり実行委員会が実施）	11/9 ①1回 ②1回	農林水産業関係団体、食品関連事業者、市（農林水産課）
		親子の料理教室の開催	射水市男女共同参画推進委員会が市内在住・在勤の親子を対象とした親子で作る料理教室を実施	2月 ①1回 ②1回	射水市男女共同参画推進委員会（地域振興・文化課）
⑤	「日本型食生活」の実践	若者向け食文化と食育実践推進事業	若い世代や子育て世代を対象に食生活の改善や地域の食文化について学ぶための教室を実施	6～1月 ①実施なし ②1回	富山県食生活改善連絡推進協議会、射水市食生活改善推進協議会
		元気とやまわくわくクッキング【再掲:1-⑦】	食品ロスの削減について学び、地域の食文化や栄養バランスのよい料理を普及するため、旬の地場産食材を使用した郷土料理の調理実習等を実施【再掲:1-⑦】	9～11月 ①3回57人 ②3回	
⑥	「食事バランスガイド」の活用促進	栄養教室(食生活改善推進員養成講座)の開催	正しい食事バランスの理解を図る教材として食事バランスガイドを利用した食生活改善推進員の養成と養成後の普及・啓発	5月～2月 ①11回 66人 ②11回	市(保健センター)
		ヘルスボランティア養成講座の開催	ヘルスボランティア養成講座において、食事バランスガイドを参考に、栄養バランスのとれた食生活について普及・啓発	7月 ①1回 20人 ②1回	
		もうすぐパパママ教室の開催【再掲:1-①】	食事バランスガイドを活用し、子育て世代の食生活について普及・啓発【再掲:1-①】	通年 ①10回 父133人、母131人 ②10回	
		脂肪バイバイ教室の開催(健康教育)	生活習慣病予防を目標に、食事バランスガイドを参考にした、栄養バランスのとれた食生活について普及・啓発	6月 ①2回1コース 延29人 ②2回	
		血管若返り教室の開催(健康教育)	生活習慣病予防を目標に、食事バランスガイドを参考にした、栄養バランスのとれた食生活について普及・啓発	12月2月 ①2回2コース 延46人 ②2回	

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
⑦	ライフステージに応じた健康な食生活を学ぶ機会の提供	三世代ふれあいクッキングセミナー【再掲:1-②】	食を通じて三世代の交流を推進するとともに、各年代の健康づくりのための食事について学ぶためのクッキングセミナーを実施【再掲:1-②】	7~11月 ①7回249人 ②7回	富山県食生活改善連絡推進協議会、射水市食生活改善推進協議会
		若者向け食文化と食育実践推進事業【再掲:3-⑤】	若い世代や子育て世代を対象に食生活の改善や地域の食文化について学ぶための教室を実施【再掲:3-⑤】	6~1月 ①実施なし ②1回	県(農林水産企画課)富山県食生活改善連絡推進協議会、射水市食生活改善推進協議会
		生涯骨太クッキング~ロコモチェックでロコモ予防~	高齢者を対象に、乳製品を使用した調理実習を通してロコモティブシンドロームの予防活動の普及	11月 ①1回 12人 ②0回	(財)日本食生活協会、射水市食生活改善推進協議会
		生活習慣病予防のための減塩推進スキルアップ事業	若者世代、働き世代、高齢者世代を対象に、食事のバランスや減塩・肥満予防等、世代別に生活習慣病予防について講義や調理実習を実施	11~12月 ①計5回(若者1回22人、働き世代1回23人、高齢者3回58人) ②計2回	
		介護予防きときと倶楽部	地域包括支援センターへの委託事業 高齢者を対象に、介護予防や地域のネットワークづくりを目的とした介護予防教室の実施。(栄養士・歯科医師・歯科衛生士による講義や実技等含む)	通年 ①51回/11コース ②4~6回1コース/10コース	地域包括支援センター、市(地域福祉課)
		高齢者の保健事業と一体的な事業の実施(個別的支援)	後期高齢者で低栄養の可能性のある者や糖尿病性腎症や高血圧で保健指導の必要性がある者に対し、受診勧奨案内文を送付したり、保健指導を実施し、生活習慣病の重症化等を予防する。	通年 ②対象者約200人	市(保険年金課、保健センター)
		高齢者の保健事業と一体的な事業の実施(集団的支援)	通いの場(100歳体操・支え合い事業)において、フレイル予防の講座を実施する。また、健康相談希望者やフレイル予備群の者に対し、健康相談を実施する。	通年 ②100歳体操:75カ所 支え合い:4回×4カ所	市(保険年金課・地域福祉課)
⑧	ボランティアなどの人材育成	栄養教室(食生活改善推進員養成講座)の開催【再掲:3-⑥】	生活習慣病の予防や健康づくりを広く地域に普及し、食生活を通して市民の健康の保持増進を図る、食生活改善推進員を養成するための栄養教室を開催【再掲:3-⑥】	5月~2月 ①11回 66人 ②11回	市(保健センター)

## 4 地域における食育の推進

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
①	ボランティア等による食育の推進	「とやま食の匠」派遣制度の活用	富山県が実施している「とやま食の匠」派遣制度等の周知及び活用	通年 ①17個人、4団体 ②16個人、4団体	市(農林水産課)
		伝達講習会、地域食育講習会の開催	生活習慣病予防のための食生活をテーマとした講義や調理実習を行う伝達講習会や、地域ニーズに則した各種の料理教室などを行う地域食育講習会を開催	通年 ①伝達講習 23回 406人 地域食育講習 32回 1392人 ②伝達講習22回 地域食育講習30回	射水市食生活改善推進協議会、市(保健センター)
		減塩・野菜摂取アンケート調査	「減塩」と「野菜もう1皿」を重点テーマとして家庭訪問で塩分チェックとアンケート調査を行い、パンフレット等を活用して減塩・野菜摂取の普及啓発を行う。	7～12月 ①329人 ②各地区	射水市食生活改善推進協議会、市(保健センター)
		男性料理教室	男性を対象に、食生活を通じ自らの健康に関心を持つよう料理講習会を実施	7月 ①1回 13人 ②1回	(財)日本食生活協会、射水市食生活改善推進協議会
②	食に関する専門的な支援	市政出前講座	食事と健康との関わりをテーマとした出前講座の実施	通年 ①1回12人 ②随時	市(未来創造課、保健センター)
		食生活改善推進員研修会	食生活改善推進員を対象に、生活習慣病予防や介護予防につながる知識と技術を習得するための研修会を開催	4～2月 ①11回 563人 ②11回	市(保健センター)
		健康教育	生活習慣改善の意識を高めることを目的として、生活習慣病予防や健康づくり、精神保健についての正しい知識を普及	通年 ①随時 ①随時	
		健康相談	家庭における健康管理に資することを目的として、心身の健康について必要な保健指導と栄養指導を実施	通年 ①随時 528人 ②随時	市(保健センター)
		訪問指導	保健指導や栄養指導が必要と思われる人とその家族に対し、生活習慣病予防のための訪問による個別指導を実施	通年 ①随時 115人 ②随時	
		子育て支援センター栄養講座	支援センター利用者を対象に、離乳食の進め方やおやつをテーマに知識の普及のミニ講義と個別栄養相談を実施	通年 ①12回(ミニ講義617名、個別栄養相談35名) ②12回	市(子育て支援課)
③	地域振興会等における食育の推進	地域振興会行事等の開催(生涯学習推進事業)	多世代が交流する農業体験、親子料理教室、おやつ作りなどを実施	通年 ①随時 ②随時	地域振興会、市(生涯学習スポーツ課)
④	職場における食育の推進	バランスアップ健康プロジェクト	民間の社員食堂等と連携し、メニュー改善に向けた取り組みを実施。研修会を開催し、食育に関するポスターやリーフレットを配布。	12月 ①1回	富山県厚生部健康課
⑤	外食等における食育の推進	食の健康づくり推進事業	野菜たっぷり、減塩、シニア向けの取組を行っている店舗を、「健康寿命日本一応援店」として登録し、外食時における野菜摂取の促進や塩分摂取の抑制などの食生。活の改善に向けた環境作りを支援する	随時 ①射水市16店舗登録 ②射水市16店舗登録	富山県厚生部健康課

## 5 食の選択力の向上及び安全性の確保

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
①	食品に関する情報の発信	栄養教室(食生活改善推進員養成講座)の開催	食生活改善推進員を養成する栄養教室において、食品の表示・規格等に関する講座を開催 講師:高岡厚生センター	1月 ①1回 7人 ②1回	市(保健センター)、高岡厚生センター
		食生活改善推進員再教育	食生活改善推進員対象の研修会において、食の安全等に関する講座を開催	7月 ①1回 80人 ②1回	市(保健センター)
		消費生活サポーター養成事業	消費生活サポーターと食品表示・食の安全などの情報を共有し、市民に対し啓発に努めた。	通年 ①随時 ②随時	市(生活安全課)
		広報紙等による情報の提供	食中毒防止の情報など、国・県からの情報をもとに、市広報紙やホームページなどを通じた情報の提供	通年 ①随時 ②随時	市(各担当課)
②	食に関する危機事案発生時の安全性の確保	広報紙等による情報の提供	国・県からの情報を基に、市広報紙やホームページ等を通じて随時情報を提供する。(鳥獣・家畜等の法定伝染病、放射能と食品等に関する情報等を市ホームページにより提供)	通年 ①随時 ②随時	市(生活安全課、農林水産課)
③	食品の安全性に関する相談体制の確立	消費生活相談の実施	相談内容の専門性から、国、県などと連携した消費生活相談における食品に関する相談等の受付	通年 ①1件 ②随時	市(生活安全課)
④	食に関するリスクコミュニケーションの充実	国、県及び関係機関との連携	国、県及び関係機関との連携による「食の安全」を含めた様々な消費生活情報を共有	通年 ①随時 ②随時	市(生活安全課)
		食品衛生協会との連携	飲食に起因する伝染病、食中毒その他の危害を防止し、安全な食品を消費者に提供するための射水食品衛生協会との連携	通年 ①随時 ②随時	高岡厚生センター、市(保健センター)
⑤	生産・流通管理の徹底	GAPやトレーサビリティ普及への取り組み	射水市農業技術者協議会と連携し、農産物の安全性の確保と産地の信頼性の向上を図るため、市内の農業経営体に対し、GAP(リスク管理措置の記録等)やトレーサビリティ(生産、加工、流通の各履歴情報が確認できる仕組み)を普及	通年 ①随時 ②随時	射水市農業技術者協議会、市(農林水産課)
		産地情報の伝達	直売所等におけるトレーサビリティ法やJAS法(農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律)に基づく産地情報の伝達	通年 ①随時 ②随時	農林水産業関係団体
⑥	消費者への情報提供の推進	広報紙等による情報の提供 【再掲:5-①】	国・県からの情報をもとに、市広報紙やホームページ等を通じた情報の提供 【再掲:5-①】	通年 ①随時 ②随時	市(農林水産課)

# 基本目標Ⅲ

ずっと伝えよう、育てていこう 射水の恵みく地産地消を通じた地域の活性化>

## 6 地産地消の推進

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
①	地場産食材の消費の拡大	園芸作物等特産振興	園芸特産物の集団化と共同販売体制の確立を推進するとともに、複合化による水田作経営を体質強化	通年 ①随時 ②随時	農林水産業関係団体 市(農林水産課)
		学校給食米粉食品利用助成事業	県産コシヒカリの消費を推進するため、従来の小麦粉パンに替えて米粉パンを学校給食に提供する場合に米粉と小麦粉の価格の差額を助成及び米粉パン以外の米粉食品(米粉麺等)に使用する米粉の価格と小麦粉の差額を助成	通年 ①全小・中学校 ②全小・中学校	
②	直売所及びインショップの設置	直売所等のPR	県内の直売所、インショップ情報が掲載されたパンフレットを作成し、直売所等を対象とした県産品購入ポイントなどの各種イベントの実施(県事業)及び県と連携したPR	通年 ①随時 ②随時	市(農林水産課)
③	農林水産業者との交流の推進	稚魚放流事業【再掲:2-②】	漁業資源保全、養殖漁業や地域の食材への理解を深めてもらうため、園児・児童がアユやクロダイ等の稚魚放流を体験【再掲:2-②】	4/15 4月 8月 ①大門小 ②大門小(アユ) 八幡保育園(クロダイ)	農林水産業関係団体 市(農林水産課)
		カニ学校給食の実施	地元の特産品への理解を深めるため、ベニズワイガニを市内全小学校6年生の給食時に1杯まるごと提供し、豊かな食材への感謝とふるさとを大切に思う心を育む	9月下旬～ 11月初旬 ①各小学校 ②各小学校	
④	地産地消の意識の普及・啓発	直売所等のPR	市内の農産物の直売所に関する情報など、市ホームページで地産地消に関する情報を提供	通年 ①随時 ②随時	農林水産業関係団体 市(農林水産課)
		チャレンジ農業体験	市内の小学5,6年生を対象に、農作物の定植から収穫、調理(加工)の体験を通じて、農業を身近に感じてもらうとともに、射水市農産物への理解を深める	6/15、 8/25、 12/7 ①3回 ②4回	
⑤	魅力的な地場産品による射水ブランドの育成	園芸ブランド産地強化事業	県の補助事業を活用し、生産拡大や経営の複合化による生産者数や産地の拡大を図るため、機械・施設の整備を支援	通年 ①実施事業者 ②実施事業者	市(農林水産課)
		サクラマスPR事業	射水市の新ブランド確立と養殖漁業の振興を支援	通年 ①1事業 ②1事業	
		1億円産地づくり支援事業	販売金額1億円を目標に、新規生産者の掘り起こしや作付拡大に取り組む。	通年 ①えだまめ、いちご ②えだまめ、いちご	
		射水ブランド商品開発支援	一次産品及び加工品の商品開発及び販路拡大の支援	通年 ①随時 ②随時	市(港湾・観光課)
		「いいとこ、いいもの、ギュギュッと！射水」きときといみず大漁まつり	富山県アンテナショップ「日本橋とやま館」内の和食レストラン「富山はま作」の協力のもと、射水産の特選食材を使用したランチ・ディナーを期間・数量限定で提供し、「射水の上質な食」の魅力や「豊富な天然食材」を首都圏に向けてPRした。	通年 ①1月20日(月)～1月26日(日)の1週間 ②1月下旬の1週間	

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体	
⑥	射水の旬の食材の情報発信	ホームページによる情報の提供	市ホームページの「新湊のさかな情報」などによる旬の食材に関する情報の提供	通年 ①随時 ②随時	市(農林水産課)	
		「食育だより」、「給食だより」の配付【再掲:1-③】	旬の食材に関する情報を伝えるため、保育園や幼稚園、小・中学校において「食育だより」や「給食だより」を配付	通年 ①定期 ②定期	保育園、幼稚園、小・中学校、市(子育て支援課、学校教育課)	
⑦	地場産食材の積極的な使用の推進	「射水きときとの日」の実施【再掲:2-④】	保育園において毎月「射水きときとの日」を設定し、旬の地場産食材を給食に使用【再掲:2-④】	通年 ①26回 ②28回	保育園、市(子育て支援課)	
		地場産食材利用の加工食品提供【再掲:2-④】	地元の食材を使ったりんご・にんじんゼリーや里芋コロッケ、かぼちゃコロッケなどを業者に製造依頼し給食に使用【再掲:2-④】	通年 ①17回 ②24回		
		6市連携地場産献立「呉西(ゴーセイ)な日!!」【再掲:2-④】	圏域内の農林水産物(以下、「地場産物」という。)を使った共通の献立を学校給食で提供し、共通の献立名は、分かりやすく親しみが持てるよう、とやま呉西圏域の「呉西」と特別感をだす「豪勢」をかけ、「呉西(ゴーセイ)な日!!」とする。 子供が口にするものに保護者は興味を持っており、学校給食に使用されることで、子供のみならず保護者も地場産物に興味を抱くようになり、現時点及び子供が成長した後の将来的な地場産物の消費拡大につながることを期待される。 また、地場産物一つ一つの印象は大きなものではないが、6市において「呉西(ゴーセイ)な日!!」を提供することで一体感と特別感をだし、より大きな印象、波及効果をねらう。 ブランドの育成につながる土壌を育むとともに、圏域の消費の定着化を図りたい。	①11/18~22 ②11月中	とやま呉西圏域連携事業「呉西圏域ブランド育成事業」、市(農林水産課)	
		学校給食研究会、給食部会	栄養教諭、栄養職員などで組織する学校給食研究会、調理員で組織する給食部会において、地場産食材を使用した献立などについて協議	通年 ①学校1回 保育園12回 ②学校1回 保育園12回	市(学校教育課)、保育園、市(子育て支援課)	
		地域資源及びキッチンカーの活用による賑わい創出方策策定業務	地方創生推進交付金を活用し、地域資源を活用し経済循環を図ることを目的にキッチンカーを活用した、食の実証実験を行った。 富山市のあまよと横丁において、市内の食材を使い「ピリ辛味噌汁カニうどん」と「旨味ごま汁親子うどん」を商品開発し、キッチンカーでの実証販売を行った。また、内川ホリデイマーケットでは、「射水白エビ天小丼」の実証販売を行った。	通年 ①9月、2月	政策推進課	
⑨	食品廃棄の低減	食品ロス削減	家庭から出る食品ロスを削減するため、市委託の可燃ごみ収集車両の車体に貼る食品ロス削減啓発マグネットを作成し、市民への啓発を行う。  夏休みの応募作品として市内の小中学生から「食品ロス削減」の作品募集を行った。	3月  7~9月	①委託業者3社 ②委託業者3社  ①ポスター253点 壁新聞2点 ②市内小中学生	市(環境課)
		いみず環境チャレンジ10	市内全小学校4年生について、「環境チャレンジ10」を実施し、食品ロスについても取り組んでいる。	通年	①とやま環境チャレンジ10市内6校 いみず環境チャレンジ10市内9校 ②未定	市(環境課)、富山県
		元気とやまわくわくクッキング【再掲:1-⑦】	食品ロスの削減について学び、地域の食文化や栄養バランスのよい料理を普及するため、旬の地場産食材を使用した郷土料理の調理実習等を実施【再掲:1-⑦】	9~11月	①3回 57人 ②3回	富山県食生活改善連絡推進協議会、射水市食生活改善推進協議会

## 7 食文化の伝承・創造

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
①	郷土料理や伝統料理の情報発信	—	市ホームページ等による情報の提供	①随時 ②随時	市(関係各課)
②	郷土料理や伝統料理の伝承	「だしで味わう和食の日」	給食に使用されている鰹節やしいたけなどに実際に手で触れ、調理員から「だし」の取り方を聞き、汁物などを食べながら「だし」「和食」「郷土料理」などの会話を全員で楽しむ	11月 ①市内全保育園 ②市内全保育園	保育園(子育て支援課)
		伝達講習会、地域食育講習会の開催【再掲:3-②】	生活習慣病予防のための食生活をテーマとした講義や調理実習を行う伝達講習会や、地域ニーズに則した各種の料理教室などを行う地域食育講習会を開催【再掲:3-②】	通年 ①伝達講習 23回 406人 地域食育講習 32回 1392人 ②伝達講習22回 地域食育講習30回	射水市食生活改善推進協議会 市(保健センター)
		三世代ふれあいクッキングセミナー【再掲:1-②】	食を通じて三世代の交流を推進するとともに、各年代の健康づくりのための食事について学ぶためのクッキングセミナーを実施【再掲:1-②】	7~11月 8~12月 ①7回 249人 ②7回	富山県食生活改善連絡推進協議会 射水市食生活改善推進協議会
		元気とやまわくわくクッキング【再掲:1-⑦】	食品ロスの削減について学び、地域の食文化や栄養バランスのよい料理を普及するため、旬の地場産食材を使用した郷土料理の調理実習等を実施【再掲:1-⑦】	9~11月 ①3回 57人 ②3回	
		「とやま食の匠」派遣制度の活用【再掲:4-①】	富山県が実施している「とやま食の匠」派遣制度等の周知及び活用【再掲:4-①】	通年 ①17個人、4団体 ②16個人、4団体	市(農林水産課)
③	地域行事等における食文化の伝承	生涯学習推進事業【再掲:4-③】	多世代が交流する農業体験、親子料理教室、行事食やおやつ作りなどを実施【再掲:4-③】	通年 ①随時 ②随時	地域振興会、市(生涯学習・スポーツ課)
④	射水ブランドによる新たな食文化の創造	射水ブランド商品開発支援【再掲:6-⑤】	一次産品及び加工品の商品開発及び販路拡大の支援	通年 ①随時 ②随時	市(港湾・観光課)